

## グアテマラ内政・外交（2011年9月）

平成23年10月

在グアテマラ日本国大使館

### 1. 概要

内政面では、11日、総選挙が実施され、支持率1位を維持してきたペレス・モリーナ野党愛国党(PP)候補の得票率が31.82%に留まり、当選要件の過半数に達しなかったため、同20.00%で第2位となったバルディソン自由民主会派(LIDER)と決選投票(11月6日実施予定)で争うこととなった。

外交面では、21日、コロン大統領が第66回国連総会において一般討論演説を行ったほか、17日、ロダス外相がパレスチナの国家承認問題については今後選出される新大統領(2012年1月就任)が決定するだろうとの発言を行った。

### 2. 内政

#### (1) 2011年大統領選挙世論調査結果

9月8日付プレス・リブレ紙は、8月末から9月初旬にかけて実施した2011年大統領選挙に関する世論調査結果(Prodatos社に委託、8月31日から9月4日まで実施)を以下の通り報じた。

「本日大統領選挙があるとしたら誰に投票するか」への回答(○内は前回8月中旬の調査結果、<>内は有効票回答に占める割合)

|                             |              |                |
|-----------------------------|--------------|----------------|
| ①ペレス・モリーナ愛国党(PP)候補          | 37.9%(39.6%) | <42.6%(44.6%)> |
| ②バルディソン自由民主会派(LIDER)候補      | 23.4%(18.5%) | <26.2%(20.8%)> |
| ③スーヘル「公約・革新・秩序」運動党(CREO)候補  | 12.6%(11.3%) | <14.1%(12.7%)> |
| ④カバジェーロス「ビジョンと原則」党(VIVA)候補  | 5.2%( 6.5%)  | <5.9% (7.3%)>  |
| ⑤エストラーダ国民革新党(UCN)候補         | 3.2%( 4.5%)  | <3.6%(5.0%)>   |
| ⑥メンチュウ拡大戦線(Frente Amplio)候補 | 2.1%( 3.1%)  | <2.3%(3.5%)>   |
| ⑦グティエレス国民進歩党(PAN)候補         | 1.8%( 2.6%)  | <2.0%(2.9%)>   |
| ⑧パトリシア・デ・アルス統一会派党(PU)候補     | 1.7%( 2.0%)  | <2.0%(2.2%)>   |
| ⑨ジャマテイ社会行動党(CASA)候補         | 0.6%( 0.6%)  | <0.7%(0.7%)>   |
| ⑩トレビアルテ国家開発行動党(ADN)候補       | 0.5%( 0.2%)  | <0.6%(0.3%)>   |
| ⑪白・無効票                      | 11.0%(11.1%) |                |

#### (2) 2011年総選挙の実施

(ア) 11日午前7時、本年総選挙(大統領選挙、国会議員選挙、地方選及び中米議会議員選挙)の投票受付が開始し、同日18時、投票受付が終了した。

(イ) 当地メディアは、国内数ヶ所で住民による投票用紙の焼却や各政党支持者間の衝突等諸問題が発生したものの、選挙プロセスを著しく損ねる問題は生じなかった旨報じた。ビジャグラン最高選挙裁判所(TSE)長官及びメノカル内務大臣によると、ソロラ県ナウアラ市 Xejuyup 村で、投票用紙が既に記入されていると誤解

した住民が投票用紙を燃やし現地選管(TSE)関係者2名の身柄を拘束する事案が発生したため同地における投票は一時停止された。ビジャグランTSE長官によると、グアテマラ県やエスクイントラ県等において、有権者や党関係者間の衝突が生じたものの、深刻な事態には至らず沈静化した。計 3,500 人の選挙監視員を国内各地に派遣した選挙監視グループ Mirador Electoral(シンクタンク、NGO 等で構成)は、正午までの監視活動報告で、アルタベラパス県コバン市やパンソス市等で愛国党(PP)及び国民希望党(UNE)-国民大連合(GANA)による有権者に対する票買い行為が、グアテマラ市、チマルテナンゴ県等11ヶ所で規定期間を超えた選挙活動が認められた旨発表した。

### (3) 2011年総選挙結果

(ア) 2011 年総選挙については、(a)民政移管時選挙(1985 年)に次ぐ水準となった高い投票率、(b)女性有権者数が男性有権者数を上回る(当国史上初)等で評価される一方、(a)一部投票所での投票用紙の焼却や襲撃事件の発生、(b)政党や候補者による恣意的な有権者の移動(Acarreo(票移動))が過去の選挙よりも多く発生、(c)最高選挙裁判所(TSE)による集計・開票作業の甚だしい遅れが主な問題点として挙げられた。

#### (イ) 大統領選挙

(a) 27日に最高選挙裁判所(TSE)が発表した最終結果は以下の通り。

|                                  |                     |
|----------------------------------|---------------------|
| ①ペレス・モリーナ愛国党(PP)候補-----          | 1,597,937 票(31.82%) |
| ②バルディソン自由民主会派(LIDER)候補-----      | 1,004,215 票(20.00%) |
| ③スーヘル公約・革新・秩序運動党(CREO)候補-----    | 735,728 票(14.65%)   |
| ④エストラダ国民革新党(UCN)候補-----          | 385,932 票( 7.68%)   |
| ⑤カバジェーロス・ビジョンと原則党(VIVA)候補-----   | 276,192 票( 5.50%)   |
| ⑥メンチュウ拡大戦線(Frente Amplio)候補----- | 142,599 票( 2.84%)   |
| ⑦グティエレス国民進歩党(PAN)候補-----         | 121,964 票( 2.43%)   |
| ⑧パトリシア・デ・アルスー統一会派党(PU)候補-----    | 96,870 票( 1.93%)    |
| ⑨ジャマテイ社会行動党(CASA)候補-----         | 46,655 票( 0.93%)    |
| ⑩トレビアルテ国家開発行動党(ADN)候補-----       | 18,779 票( 0.37%)    |
| ⑪無効票-----                        | 212,814 票( 4.24%)   |
| ⑫白紙投票-----                       | 382,379 票( 7.61%)   |

(b)世論調査で常に支持率1位を維持してきたペレス・モリーナ PP 候補は得票率が約 31.82%に止まり、第1回投票で勝負を決めるレベル(有効票総数の過半数)に達しなかった。一方、世論調査では支持率が 4~5%だったバルディソン LIDER 候補が急激に支持率を伸ばし、得票率 20.00%となり決選投票への進出を決めた。

#### (ウ) 国会選挙・地方選・中米議会選挙

(a) 国会議員(定数 158)選挙最終結果

|                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| ①愛国党(PP)-----                | 57 議席 (現国会議席数 38 議席) |
| ②国民希望党(UNE)・国民大連合(GANA)----- | 48 議席 (現国会議席数 48 議席) |
| ③国民革新党(UCN)-----             | 14 議席 (現国会議席数 6 議席)  |
| ④自由民主会派(LIDER)-----          | 14 議席 (現国会議席数 27 議席) |
| ⑤公約・革新・秩序運動党(CREO)-----      | 12 議席                |

- ⑥ビジョン・原則党(VIVA)・グアテマラ集合党(EG)----- 6 議席 (現国会議席数 1 議席)
- ⑦国民進歩党(PAN)----- 2 議席 (現国会議席数 3 議席)
- ⑧拡大戦線(Frente Amplio)----- 2 議席 (現国会議席数 2 議席)
- ⑨勝利党(VICTORIA)----- 1 議席
- ⑩統一会派党(PU)----- 1 議席 (現国会議席数 5 議席)
- ⑪グアテマラ共和戦線(FRG)----- 1 議席 (現国会議席数 6 議席)

(b)地方選(計 333 市)結果(開票率 100%)。なお、最高選挙裁判所(TSE)は27日に行われた今般当国総選挙における最終結果発表において、市長選の最終結果については報告しなかった一方、5市において市長選の再投票を行う旨発表した。

- ①国民希望党(UNE)-国民大連合(GANA)---計123市
- ②愛国党(PP)-----計120市

(c)中米議会(定数 20)選挙最終結果

- ①愛国党(PP)----- 7 議席
- ②国民希望党(UNE)・国民大連合(GANA)----- 6 議席
- ③国民革新党(UCN)----- 2 議席
- ④自由民主会派(LIDER)----- 2 議席
- ⑤公約・革新・秩序運動党(CREO)----- 2 議席
- ⑥ビジョン・原則党(VIVA)・グアテマラ集合党(EG)----- 1 議席

(4)大統領選挙決選投票へ向けての動向

(ア)決選投票へ向けた両候補の発言

12日、ペレス・モリーナ PP 候補は、決選投票を視野に収めつつ、CREO, VIVA, ADN の各党との緊密な関係を今後も維持する旨発言した。更に、団結と変革への開始を目指していることに鑑み、PP は全ての政党や社会セクターと対話する態勢にあると述べた。同日、バルディソン LIDER 候補は、諸政党の支持を得るための全国キャンペーン(cruzada)を開始すると表明し、「この呼びかけは8政党の幹事長に対するものであり、新しいグアテマラの建設へ向けた対話のテーブルを設けることを呼び掛けるものである。」と述べた。

(イ)各党の選挙協力

(a)18日、ペレス・モリーナ PP 大統領候補はバルデッティ同党副大統領候補を含む党幹部と、カバジェーロス VIVA 党首(元大統領候補)等と記者会見を行い、本年大統領選挙の決選投票及び明年に成立する国会での両党間協力が決定した旨発表した。カバジェーロス VIVA 党首は、栄養失調及び貧困撲滅のための政策綱領について協議した結果、PP を支援する決定を下したと述べ、「栄養失調撲滅を目的とした小麦の栄養強化や農村開発などについて共同で当たる予定である。」と述べた。今後、PP の政策綱領「空腹ゼロ(hambre cero)」に、VIVA が提案するスーパー・トルティージャ(注:公立学校児童向けのビタミン強化トルティージャ(主食))及び栄養強化小麦に関する法案が追加されることになる。

(b)19日、バルディソン LIDER 大統領候補及びブランドン同副大統領候補はグアテマラ市内のホテルで、フローレス UNE 幹事長及びマルチネス GANA 幹事長と共に記者会見を行い、UNE-GANA が大統領選決選投票で LIDER と選挙協力を結ぶ決定を下した旨発表した。バルディソン LIDER 候補は、「BONO15 は実現される。」

「現政権が社会連帯審議会を通じて実施する諸社会プログラムは継続される。」等述べた。フローレス UEN 幹事は、「この選挙協力は国家ビジョンに基づくものであり、社会連帯審議会によるプロジェクトは継続されることとなる。」「サンドラ・トーレス元大統領夫人は、このプロセス(決選投票)をオブザーバーとして見守ることとなる。」と述べた。

(c)同日、UNE-GANA と LIDER の選挙協力について問われたアレホス国会議長(UNE)は、国会議長としての任務に集中すると述べると共に、「自分は中立的立場であり何らかの意見を表明することはない。」と述べつつ、決選投票へ向けた選挙戦ではいずれの候補にも与しないとした。

(d)28日、ウィナック政治活動のリゴベルタ・メンチュウ女史及び新国民同盟(ANN)のソト党首は(注:拡大戦線(Frente Amplio)の名の下選挙同盟を組んでいた3政党の内2党)は、決選投票においてバルディソン LIDER 大統領候補と選挙協力を結ぶ決定を下した旨発表した。

#### (5)国会における与野党協力の合意

(ア)14日、グアテマラ市内ホテルで会合した与党UNE、野党 GANA、LIDER、UCN 及び PAN の幹事は、「グアテマラのための同盟(Alianza por Guatemala)」という名称の下、今後国会内で右5党が協力することで合意するとの文書への署名を行った。

(イ)同日、同合意成立後の最初の法案として、総額 265 百万ドルの医療・教育分野向け借款案件が国会の第三読会を通過した。

(ウ)マルティネス GANA 幹事は、「明年成立する国会に議席を有する予定の全政党に対し本協力を呼び掛け、呼び掛けに応じた政党と合意を結んだ。」「本合意は、国会審議を停滞させないための約束である。」等述べた。また、基礎的食糧配給プログラム(Bolsas Solidarias)及び条件付支援金交付制度(Mi Familia Progres)の制度化を目指す法案承認が優先課題であり、そのために各党への協力を求めると述べた。

### 3. 治安情勢関連等

#### (1)地震の発生

(ア)19日正午過ぎから夕方に掛け数回に亘り、サンタ・ロサ県を震源とするマグニチュード4.8前後の地震が発生し、首都を中心とする広い範囲で揺れが観測された。国家災害調整委員会(CONRED)によると、この地震による被害状況は、震源地のサンタ・ロサ県クイラパ市及びサンタ・マリア・イシュファタン市において、死者1名、行方不明者3名、負傷者11名、損壊家屋13軒、家屋が損壊した住民70名、避難所(クイラパ市庁舎及び軍施設)へ避難している住民1,150名であった。なお、当館長崎大使よりエスパーダ副大統領に対して、お見舞いを口頭にて伝達した。

(イ)サンチェス気象庁(INSIVUMEH)長官は、「19日の地震では、強度の地震が3回発生したほか余震も2回発生したため、首都を含め市民の間で警戒感が強まった。」「本年7月1日からサンタ・ロサ県では揺れが継続しており19日の地震もその一環として位置づけられる。同県における揺れは7月1日から9月1日までで、体感できる揺れが計67回、極めて小さな揺れを含めれば計4,020回に達している。約一週間前からこの揺れが収まっていたが、この間にエネルギーが蓄積され19日の地震が発生したと思われる。」等述べた。この地震は、エルサルバドルとの国境地域から当国アマティランに続く位置の深層にあるJalpatagua断層によると見られている。

#### 4. 外交

##### (1) コロン大統領の第66回国連総会出席

21日、コロン大統領は第66回国連総会において一般討論演説を行い、4年間の政権任期の成果及び残された課題と共に、11日に実施された総選挙では高い投票率が達成されつつ平穩裡に実施され民主主義に基づく参加型社会の強化に向けまた一歩前進したことを報告したい等表明した。

##### (2) パレスチナ国家承認問題

17日、ロダス外相は、パレスチナの国家承認問題についてグアテマラ外務省としては、今後選出(本年11月6日決選投票)される新大統領(2012年1月就任)が決定するだろうと述べた。同外相は、「我々はこれまでのところ、(本件に関する)いかなる決議案も受け取っていないが、同決議案を受け取り次第、検討することと致したい。」「留意すべきは、当国が政権交代を間近に控えており、同時に、予定通りであれば当国が安保理メンバーとして就任する予定となっている点である。これらに鑑み、我々は選出される新大統領との間で、現政権と次期政権の間の外交政策の一貫性について協議する必要がある。」等述べた。ロダス外相は、新政権発足の明年1月14日以降大きな影響を与える可能性のあるこのような重要な決定を容易にとることはできないと述べた。